

「ツアー登山」を安全に楽しむために

平成22年3月
観光庁

どんなに気を付けていても、登山では、登山道での転倒や滑落といった不慮の事故や急な気象の変化等による遭難事故に巻き込まれることがあります。それらの危険を回避するためにも、以下の事項を守りましょう。

1. 「ツアー登山」とは？

「ツアー登山」とは、登山をはじめトレッキング、ハイキング等を目的とした旅行をいいます。

「ツアー登山」を募集できるのは、観光庁長官または都道府県知事による登録を受けた旅行業者です。契約に際しては、営業所に掲示する『旅行業登録票』や旅行のパンフレットで登録番号を確認しましょう。

2. 旅行の目的地や日程・行程等ツアーの内容を確認しましょう

標高の高い山では天候や気温が急に変化することがあります。

契約に際しては、コースの難易度、登山道の状況や歩行時間等、自分の体力や経験にあった無理のないものを選んで下さい。

また、ご不明の点等は契約の前に、旅行を企画・実施する旅行業者にお問い合わせ下さい。

3. 必要な装備を確認しましょう

目的地に応じて旅行業者がお知らせする「装備品」を必ず確認し、忘れずに持参して下さい。

4. 健康・体調の管理に努めましょう

出発日が決まったら、健康管理や体調管理に努め、日々のトレーニングも欠かさないようにしましょう。

また、出発後であっても、登山に先立ち、体調に不良や不調を感じた場合には、速やかに添乗員や山岳ガイド等の引率者に申し出て下さい。

5. 引率者の決定には協力しましょう

「ツアー登山」は団体行動が基本です。

添乗員や山岳ガイド等の引率者は、安全確保や危険回避のために、登山の中止や途中下山を含めた判断・決定を行う場合があります。

個人の意見や希望を主張しすぎて、団体行動を乱すことのないよう協力して下さい。

6. 傷害保険に加入しましょう

「ツアー登山」の参加にあたっては、登山中の事故や捜索・救助にも対応した旅行傷害保険の加入をお勧めします。

詳しくは旅行業者に問い合わせましょう。